



## 2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社平山ホールディングス  
コード番号 7781 URL <http://www.hirayamastaff.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平山 善一  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ戦略本部長 (氏名) 塚原 進午  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
TEL 03-5769-4680

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	26,264	11.7	855	9.1	896	8.7	583	15.1
2023年6月期第3四半期	23,519	15.4	783	40.1	824	36.7	506	44.2

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 583百万円 (16.9%) 2023年6月期第3四半期 499百万円 (41.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	79.02	76.31
2023年6月期第3四半期	69.24	66.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第3四半期	11,202	4,250	37.9	574.41
2023年6月期	10,114	3,987	39.4	536.87

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 4,248百万円 2023年6月期 3,986百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期				25.00	25.00
2024年6月期		12.00			
2024年6月期(予想)				30.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,300	8.3	1,200	34.3	1,190	25.5	700	27.5	94.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	7,888,800 株	2023年6月期	7,852,800 株
期末自己株式数	2024年6月期3Q	492,773 株	2023年6月期	427,773 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	7,382,167 株	2023年6月期3Q	7,316,870 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報等に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年7月1日～2024年3月31日)におけるわが国経済は、2024年4月1日発表の全国企業短期経済観測調査(短観)に見られるとおり、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数(DI)は前回の12月調査から2ポイント悪化してプラス11と、4期ぶりに悪化しました。品質不正問題による自動車生産の減少により、関連産業の業況感が悪化しました。大企業非製造業はプラス34と、2ポイント改善しました。8期連続の改善で1991年8月以来の高い水準となり、インバウンド需要が寄与して改善しております。

一方、2024年2月の完全失業率は2.6%で、前月より0.2ポイント上昇しました。2月の有効求人倍率(季節調整値)は1.26倍で、前月から0.01ポイント低下しました。原料高による収益悪化で求人を抑える動きが広がっており、宿泊・飲食サービス業は、コロナの5類移行で売上は好調なもの、前年の同時期に全国旅行支援で雇用環境が好調だった反動がありました。

このような環境下において、平山グループは、コロナ禍後の生産回復需要を取り込み、前年同期比で増収増益を確保しました。利益面では、第1四半期に連結子会社化した株式会社平山GL(旧ブリヂストングリーンランドスケープ株式会社。以下「平山GL社」という。)においてグループ化に伴う諸費用が増加したこと、今後のグループ成長のため拠点と人員の拡充及び採用強化に伴う諸経費を戦略的に使用したこと、第3四半期において一部自動車メーカーの稼働停止や繁忙期に当たる3月において稼働日が前年と比較し2日少なかったこと等から押し下げとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26,264,124千円(前年同四半期比11.7%増)、営業利益855,303千円(前年同四半期比9.1%増)、経常利益は為替差益25,015千円等を計上したことから896,440千円(前年同四半期比8.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等313,878千円等を計上した結果、583,327千円(前年同四半期比15.1%増)となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

#### ① インソーシング・派遣事業

インソーシング・派遣事業につきましては、第3四半期において、1月に発生した能登半島地震によりサプライチェーン混乱の影響を受け休業が発生したこと、繁忙期における3月の稼働日数が前年と比較し2日減少したこと、主に自動車関連企業の減産・休業が多く発生する等の悪影響を受けたことが、売上高・利益のマイナス要因となりました。一方、食品関連及び医療機器関連は、引き続き底堅く推移しました。物流関連、旅客業関連、リテール関連等においては、インバウンドの活況により引き続き旺盛な需要があり、既存取引先からの追加発注のみならず新規受注も好調でした。注力業種として新規受注した半導体製造関連についても、緩やかながらも増収に寄与しました。なお、第1四半期に連結子会社化した平山GL社は本セグメントに計上されております。

利益面では、医療機器関連及び前期に利益改善を進めたサービス系子会社が寄与したものの、上記稼働日数減少等の影響や、今後の成長を見据えて、平山GL社の連結子会社化に伴う諸費用が増加したほか、顧客ニーズが強い高単価受注案件への人員配置及びハイエンド技能人材教育の強化を行うため、募集費等を戦略的に使用するとともに新たな拠点や研修センターの設置、採用担当者及び教育人材を拡充した結果、人的資本増加に伴う関連費用が増加し減益となりました。

採用面では、2023年新卒採用者が定着し生産の安定に寄与する一方、中途採用ではサービス産業の復調等業況の改善に伴い採用環境が前期に増して厳しくなり始めました。これに対し、平山グループは、コストパフォーマンスの良い地方テレビCM等のメディア活用、SNSの活用、ネットワーク採用等を前期から継続的に強化して企業イメージの向上を図るとともに、採用ルートの多様化等により採用の強化を行っております。現状の物価上昇・給与引き上げ等の背景もあり採用コストについては中途・新卒採用費用・労務費ともに上昇傾向にあるものの、顧客企業に理解を求め、収益改善に努めております。

この結果、売上高は21,039,360千円(前年同四半期比11.6%増)、セグメント利益は1,102,746千円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

#### ② 技術者派遣事業

技術者派遣事業につきましては、主要顧客である大手製造業の一部で中長期を見据えた技術開発投資の持ち直しが見られ、電子機器の組み込みソフトウェアや半導体関連・生産設備関連の技術者を中心に、平山グループの受注は回復基調となりました。研修センターでの経験者へのステップアップ研修や顧客ニーズに対応したオーダー研修の実施が高単価案件への配置に寄与し、収益に貢献しております。また、AI等に関わる新規分野において新たに取引が開始され、収益の増加に寄与いたしました。

人材採用面では中長期の成長を見据えて採用活動を強化しており、2024年新卒の採用において一定の効果が出ております。一方、中途採用においては業界の人手不足感が一段と強まっており、技術者の確保面で厳しい状況

が継続しているため、採用チャネルの新規開発やコーポレートサイト刷新による企業イメージ向上など平山グループへのエントリー数増加に取り組んでおります。

利益面では、増収による利益確保に加え、販売費及び一般管理費の効率的使用に努めた結果、増益となりました。

この結果、売上高は2,205,364千円（前年同四半期比11.7%増）、セグメント利益は133,693千円（前年同四半期比92.6%増）となりました。

### ③ 海外事業

海外事業につきましては、主力のタイにおいて、製造業生産指数（MPI）が、2023年1～3月期は前年同四半期比3.7%減、2023年4～6月期は前年同四半期比5.5%減、2023年7～9月期は前年同四半期比6.3%減、2023年10～12月期は前年同四半期比5.1%減となり停滞しております。このような環境の下、タイにおける平山グループの派遣従業員数は、2023年12月時点で2,806名（前年同月比11.3%減）となりましたが、高単価顧客の在籍数を維持できたことで増収となりました。

利益面では、上記内容に加え、ローコストでのオペレーションに努めた結果、増益となりました。

この結果、売上高は2,159,096千円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は68,035千円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

注：海外事業につきましては、2023年4～12月期実績を3か月遅れで当第3四半期連結累計期間に計上しております。

### ④ その他事業

その他事業につきましては、国内の現場改善に係るコンサルティング及び海外からの研修案件が増加しました。また、生産性向上のAIソリューション開発に加えて、国内に生産回帰しようとする顧客に対する工場立ち上げ支援のコンサルティング案件が増加しました。

利益面では、外国人エンジニア及び技能実習生の配置が進んだことから、外国人雇用管理サポート事業の寄与により増益となりました。

この結果、売上高は860,303千円（前年同四半期比23.8%増）、セグメント利益は249,640千円（前年同四半期比98.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,088,112千円増加し、11,202,522千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金が472,165千円、受取手形及び売掛金が239,844千円、それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ914,923千円増加し、9,554,994千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、有形固定資産が53,123千円、無形固定資産が4,278千円、投資その他の資産が115,786千円、それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末に比べ173,188千円増加し、1,647,528千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ824,547千円増加し、6,951,757千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、未払金が55,714千円、その他負債が543,072千円、それぞれ増加した一方で、未払法人税等が109,898千円、未払消費税等が29,196千円、それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ745,448千円増加し、4,962,670千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、退職給付に係る負債が297,296千円増加した一方で、長期借入金が229,915千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ79,098千円増加し、1,989,086千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金において親会社株主に帰属する四半期純利益583,327千円を計上した一方で、配当金274,089千円の支払等により、前連結会計年度末に比べ263,565千円増加し、4,250,765千円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際通貨基金（IMF）が2024年4月16日に公表した四半期に一度の世界経済見通しで、日本の経済成長率の見通しを2024年は0.9%と前回発表と変わらず、米国の経済成長率の見通しを2024年は2.7%（前回発表比較プラス0.6ポイント）と上方修正しております。また、アジア開発銀行（ADB）は4月11日にアジア経済見通しを発表し、タイの経済成長率を2024年2.6%（前回発表比較マイナス0.7ポイント）と見通しております。

このような環境の下、平山グループの今後の見通しにつきましては、経済産業省が2024年4月30日発表した主要企業の生産計画を調査した製造工業生産予測調査で4月は前月比4.1%の上昇、5月は同4.4%の上昇見込みと、国

内生産の回復による受注が堅調なこと、これに対する新卒の配属が順調に進み生産に寄与していることから、確実な進展を見込んでおります。さらには、引き続き積極的な人材採用を進めるとともに、特殊技能工である設備保全士や溶接技能者等の教育・育成により、ハイエンドスキル現場技能工の増員を進めております。

以上を踏まえ、2023年8月14日発表の2024年6月期通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,334,259	4,806,425
受取手形及び売掛金	3,532,494	3,772,339
未収還付法人税等	268,152	321,195
その他	516,938	665,716
貸倒引当金	△11,773	△10,681
流動資産合計	8,640,071	9,554,994
固定資産		
有形固定資産	411,077	464,201
無形固定資産	58,591	62,870
投資その他の資産	1,004,670	1,120,456
固定資産合計	1,474,339	1,647,528
資産合計	10,114,410	11,202,522
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	213,013	233,200
未払金	2,578,139	2,633,854
未払法人税等	238,992	129,093
未払消費税等	742,072	712,875
賞与引当金	152,019	417,589
その他	292,985	836,057
流動負債合計	4,217,221	4,962,670
固定負債		
長期借入金	630,215	400,300
退職給付に係る負債	898,576	1,195,873
役員退職慰労引当金	311,435	314,585
その他	69,761	78,328
固定負債合計	1,909,988	1,989,086
負債合計	6,127,210	6,951,757
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	534,205	538,532
資本剰余金	453,776	458,083
利益剰余金	3,197,128	3,506,366
自己株式	△195,168	△250,272
株主資本合計	3,989,941	4,252,709
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,633	△4,333
その他の包括利益累計額合計	△3,633	△4,333
新株予約権	165	159
非支配株主持分	726	2,231
純資産合計	3,987,200	4,250,765
負債純資産合計	10,114,410	11,202,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	23,519,135	26,264,124
売上原価	19,461,586	21,837,516
売上総利益	4,057,548	4,426,607
販売費及び一般管理費	3,273,936	3,571,304
営業利益	783,611	855,303
営業外収益		
為替差益	20,582	25,015
助成金収入	8,425	3,720
その他	15,118	16,519
営業外収益合計	44,126	45,254
営業外費用		
支払利息	2,892	3,398
その他	129	718
営業外費用合計	3,022	4,117
経常利益	824,715	896,440
特別利益		
固定資産売却益	249	45
負ののれん発生益	-	13,718
特別利益合計	249	13,764
特別損失		
固定資産除却損	-	1,160
関係会社出資金評価損	5,480	-
関係会社清算損	-	2,486
社葬費用	-	8,029
特別損失合計	5,480	11,676
税金等調整前四半期純利益	819,485	898,528
法人税、住民税及び事業税	449,432	358,731
法人税等調整額	△136,656	△44,852
法人税等合計	312,775	313,878
四半期純利益	506,710	584,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	119	1,322
親会社株主に帰属する四半期純利益	506,590	583,327



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	506,710	584,649
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,485	△688
その他の包括利益合計	△7,485	△688
四半期包括利益	499,224	583,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499,098	582,626
非支配株主に係る四半期包括利益	125	1,334

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（多額の資金の借入）

当社は2024年5月15日開催の臨時取締役会において、今後の迅速な業容拡大に対応できる資金を確保するため、以下のとおり資金調達することを決議いたしました。

- （1）資金用途：運転資金
- （2）借入先：取引先金融機関5社
- （3）借入金額：1,000百万円
- （4）借入利率：固定金利（基準金利＋スプレッド）
- （5）借入実行日：2024年5月31日（予定）
- （6）借入期間：4年～5年
- （7）担保の有無：無担保、無保証